

経済協力シリーズ184

援助の評価と効果的实施

今岡日出紀 編

経済協力シリーズ第184号

援助の評価と効果的实施

今岡日出紀 編

アジア経済研究所

援助の評価と効果的实施

いまおか ひ で き
今岡日出紀 (筑波大学社会科学系教授地域研究研究科長)
たかぎ やすおき
高木保興 (東京大学大学院総合研究科教授)
たかはし もと き
高橋基樹 (神戸大学大学院国際協力研究科助教授)
ひらの かつ み
平野克己 (アジア経済研究所総合研究部主任調査研究員)
の が み
野上裕生 (アジア経済研究所総合研究部)
すぎうら けい し
杉浦恵志 (株式会社富士通総研経済研究所主任研究員)
くろいわ いく お
黒岩郁雄 (海外経済協力基金)
たけだ こういち
武田浩一 (京都大学経済研究所)

— 執筆順 —

経済協力シリーズ第184号

援助の評価と効果的实施

今岡日出紀 編

発 行

アジア経済研究所 東京都新宿区市谷本村町42 電(3353)4231(代)

1998年5月15日発行© 無断転載禁ず 印刷/製本・広研印刷
ISBN 4-258-09184-7 C3033

発 売

アジア経済出版会 東京都新宿区市谷本村町42 電(3353)1640

定価は裏表紙に表示してあります



定価(本体3300円+税)

ISBN4-258-09184-7 C3033 ¥3300E

目 次

まえがき

第1部 援助評価の視点

第1章 国際開発政策の手段としての公的開発援助 —— 今岡日出紀…5

はじめに…5

第1節 資本移動論と公的開発援助の経済的意義…8

第2節 国内資本形成と経済成長

—— ツー・ギャップ=モデルによる分析 ——…18

第3節 貯蓄と公的開発援助…26

むすびにかえて…29

第2章 マクロ的視点からみた援助事業の再評価 —— 高木保興…37

はじめに…37

第1節 援助の目的…38

1. 総合安全保障…38

2. ファンジビリティ…40

3. 内部収益率と時間選好率…41

第2節 援助分野の選定…44

1. F/Sの経費と時間…44

2. 援助分野選定の試み…45

3. 経済発展の目標…52

第3節 ボトルネックの発見…53

1. 現地経済の研究…53
 2. ボトルネック発見の一試案…55
- 第4節 対策の検討…55
1. 経済全体への波及効果の重要性…56
 2. 政府の役割…59
 3. 輸出加工区…62
- 第5節 具体的プロジェクトの決定…63
1. 維持管理費用…63
 2. 途上国の財政状況…64
- 第6節 実施方法の検討…65
- むすび…66

第3章 日本の対後発開発途上国向け援助の再検討

——援助の理念と自助努力支援 —— 高橋基樹…73

はじめに…73

第1節 問題の所在…75

1. 援助の効果の議論と「自助努力支援」理念…75
2. 後発途上国向け援助と「自助努力の支援」…77

第2節 日本の援助における「自助努力支援」のあり方と考え方…78

1. 従来型の「自助努力」…78
2. 「自助努力支援」の概念の拡大と変容…84

第3節 「自助努力支援」の現状と問題点

——日本の援助と後発途上国——…91

1. 後発途上国援助の現状と「自助努力の支援」…91
2. 後発途上国における構造調整政策と日本の関与…99
3. 日本・アジアの経験と後発途上国向け援助…101
4. 後発途上国の「自助努力の支援」を
どう考えるべきか…105

おわりに——援助の新しい理念はどうあるべきか…107

第4章 対アフリカ援助の「効率」

——新たなパートナーシップ——平野克己…121

はじめに…121

第1節 対アフリカ援助の現状…123

1. アフリカの資金状況…123
2. 1980年代における対アフリカ援助方針…127
3. 経済開発と援助…129

第2節 アフリカ経済の実態…132

1. アフリカ製造業の特殊性…133
2. アフリカ農業の停滞…140

第3節 提言——構造調整の次に来るもの…147

おわりに…151

第2部 プロジェクト評価の再検討

第5章 開発プロジェクト評価と潜在能力——野上裕生…159

はじめに…159

第1節 潜在能力アプローチの基本的な立場…160

第2節 プロジェクト評価の現状…163

1. これまでのプロジェクト評価の実績…163
2. 伝統的なプロジェクト評価への理論的な批判…164

第3節 プロジェクト評価への潜在能力アプローチ…165

1. これまでのプロジェクト評価に対する位置づけ…165
2. 個別機能に対するウェイトの決定問題…166
3. 割引率の決定問題…168
4. プロジェクトの一次の効果と二次の効果…170

むすび…171

第6章 援助プロジェクトの設計・審査・評価に対する
経済学の役割再考 ————— 杉浦恵志…177

はじめに…177

第1節 固有要因の把握と参加型組織…178

1. 固有要因の把握方法…178
2. 参加型組織の援助効果…179
3. 参加型組織の限界…181

第2節 固有要因の変容：その経済的要因…182

第3節 参加型組織の経済分析…185

1. 制度・情報分析…185
2. 進化論的分析…191

おわりに…196

第3部 援助の効果的実施

第7章 取引費用による援助事業の制度分析
—— 参加型開発と地域共同体の機能 ————— 黒岩郁雄…201

はじめに…201

第1節 参加型開発の制度分析…202

1. プロジェクト契約と取引費用…202
2. 参加型開発と取引費用の関係…206

第2節 戦略的費用の節約と共同体の機能…211

1. 戦略的費用節約のための二つのアプローチ…211
2. 開発事業の組織的枠組み…215

第3節 自己執行によるアプローチの限界と課題…217

1. 共同体による事業規模の制約…217

2. 共同体結束が脆弱な地域での事業運営…218

まとめ…222

第8章 ツーステップ・ローンの機能と役割——武田浩——231

はじめに…231

第1節 TSLの概要と特徴…232

1. TSLとは…232
2. 開発援助におけるTSLの位置づけ…233
3. OECFのTSLの特徴…235
4. TSLをめぐる世界銀行と日本政府の論争…236

第2節 円借款契約の条件づけの仕組みの理論的考察…237

1. モデル…238
2. 経営者に対する最適なインセンティブ・スキーム…239
3. 政府が直面する動学的不整合性の問題…240
4. 複数の政府部門による完了ルール…241
5. 外部からのローンの導入による最適ルールの実現…241

第3節 TSLの課題と可能性…243

1. TSLが妥当となる前提条件…243
2. 低金利貸出のインセンティブ効果の問題点とその解決方法…245
3. 外生的ショックに対する保険としての相対的パフォーマンス評価…247
4. 貧困層への無担保小口貸付プログラム…248
5. 途上国の民間金融機関の介在のメリット、デメリットとその対応策…250

むすび…251